

平成 30 年度第 11 回神戸市教育委員会会議の結果

教第 38 号議案 平成 30 年度永年勤続教職員被表彰者決定の件

平成 30 年度永年勤続として、勤続 20 年、勤続 30 年の教職員が表彰されることが決定しました。経験の浅い教職員が増加する学校現場において、各校園独自の O J T が進められています。中堅・ベテランの教職員が、自らの経験をもとに、各教科における指導法や学級経営等、様々なことをしっかりと伝えていくことで、神戸の教育の更なる充実につながっています。

報告事項 2 事務局職員の人事について

10 月 1 日付けの教育委員会事務局職員 7 名の人事異動について、報告しました。

報告事項 3 平成 30 年度第 2 回定例市会、文教こども委員会及び決算特別委員会局別審査の報告について

9 月 19 日（水）文教こども委員会、9 月 25 日（火）・26 日（水）第 2 回定例市会、10 月 3 日（水）決算特別委員会局別審査が開催され、その質疑内容について報告しました。

報告事項 6 第 4 回及び第 5 回組織風土改革のための有識者会議について

第 4 回が 9 月 14 日（金）、第 5 回が 9 月 28 日（金）に開催された組織風土改革のための有識者会議について、主な会議内容を報告しました。第 1 回～第 3 回までは、教育委員会事務局の「組織体制及び事務執行管理について」の意見交換でしたが、第 4 回目以降は、「後を絶たない教職員による不祥事の要因の分析及び不祥事の根絶に向けた再発防止策」について、意見交換が進められています。

報告事項 7 教職員の多忙化対策について

教職員の勤務実態を報告し、教職員の多忙化対策として校内研修会の実施状況や学校事務職員の相互支援体制の実施状況について報告しました。

今年度から学校経営支援課の中に「学校業務改善担当」のラインを設け、その担当課長・担当係長が 12 の小・中学校を訪問し、夏季研修を行っています。会議の中で、その研修の様子や各校独自の工夫等が紹介されました。主な内容は下記の通りです。教育委員からは、「良い学校の取組を全市に広げてほしい」といった意見が出ました。

～各校園の主な取組～

- ・近隣校で集まることで小中合同研修会を開催し、グループワークを通して、各校の課題を共有しながら業務改善について意見交換を行う。
- ・教科指導、生徒指導においても、積極的なOJTにより、業務の効率化に努める。
- ・管理職からの業務改善に関する提案
- ・学校行事の更なる精選，ICTを活用した授業づくり，あゆみ作成の工夫等

報告事項9 「(仮称)新三宮図書館基本計画(案)」 「(仮称)新西図書館基本計画(案)」の市民意見募集について

各図書館とも3回ずつの検討会を経て、「(仮称)新三宮図書館基本計画(案)」及び「(仮称)新西図書館基本計画(案)」を作成し、10月2日(火)～10月23日(火)で市民意見募集を行うことについて報告しました。意見募集については、下記のURLをご覧ください。

～意見募集について～

http://www.city.kobe.lg.jp/information/institution/institution/library/plan/pub_keikaku.html

報告事項10 平成30年度神戸市スポーツ功労者表彰 被表彰者決定について

神戸市スポーツ功労者表彰の被表彰者が決定したことを報告しました。表彰式は平成30年11月5日(月)14時から、神戸市役所1号館14階大会議室で行われる予定です。

報告事項11 神戸市立工業高等専門学校の前学事日程の変更等学則改正について

神戸市立工業高等専門学校の学事日程は現在2学期制であり、前期途中の夏季休業後に2週間ほど授業を行ったあと、定期試験を実施しています。しかし近年、授業と定期試験の継続性を確保し、学力向上を図ることを目的に、多くの高等専門学校において、前期学事日程を変更しています。同校では、平成29、30年度の2年間、試行的に変更し、検証しました。その結果、前期成績通知後の9月中旬に学力補充・再評価期間を設け、学力の向上につながる指導ができる等のメリットがあるので、平成31年度から本格的に実施することになり、その学則改正について報告しました。

報告事項15 垂水区中学生自死事案に関する報告について

「組織風土改革のための有識者会議中間とりまとめ」及び神戸市教育委員会「組織体制及び事務執行管理に関する緊急取組について」に対して、ご遺族から出された所感の報告をしました。